

普及現地情報

発信年月日：令和2年(2020年)10月28日
所属名：湖東農産普及課
番号：F20011
部門分類：340(鳥獣害)
発信者名：木村

多賀町四手集落で集落環境点検を実施

多賀町で100頭規模のサル群である八重練群の個体数調整事業に伴い、各集落での更なるサル対策が求められています。今回はその中でも一番東に当たる四手集落において、住民参加のもと放置果樹や農地管理などサルの誘引要因の確認とサルの侵入経路について集落環境点検を行いました。

点検に先立って当課より趣旨説明を行い、被害の確認だけではなく集落の弱点を見つけていく事、現状を確認し、できることを考えるきっかけにするよう伝えました。

点検は2班体制で、普及指導員と町担当職員を交え集落のチェックを行いました。住民の話からサルの侵入方向を確認でき、柵の無い道路からの侵入だけでなく、侵入防止柵を越えてサル群が入ってきていることもわかりました。

果樹については柿だけでも110本が確認され、青いうちから食害を受け収穫皆無となっていました。またひこばえに靱の付いている田も複数確認できました。

現地を確認することで、容易に手に入るエサがサルを集落に執着させている要因となっているとの認識を共有できました。

また、集落では花火による追い払いがされていますが、効果がないと認識されていることがわかりました。追い払いを繰り返し、サルに「この集落に来ると嫌な思いをする」という経験をさせることが必要であることを説明しました。

当課では今後も被害集落に働きかけ、獣害被害を減らすために集落の取り組めるサル対策について支援を続けていきます。



集落環境点検の趣旨について説明



廃屋横の放置果樹を確認するチーム